

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の、消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第29回消費者安全調査委員会（平成27年2月20日）

- エスカレーター事故
報告書素案の検討状況について、担当専門委員と事務局から説明を受けました。詰めの議論をしっかりと行いながら、できる限り速やかに公表したいと思えます。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち2件については調査を行わないことになりました。残りの案件（27件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で調査委員会において判断していくこととなります。

部会の動き

- 工学等事故調査部会（2月上旬に開催）
 - ・ エスカレーター事故：担当専門委員と事務局から報告書素案の説明を受け、議論しました。早急に取りまとめることができるよう、引き続き部会で議論していきます。
 - ・ 子どもによる医薬品誤飲事故：子どもが開けにくく、しかし、高齢者など本来服用するべき方々が開けることができる包装容器（チャイルドレジスタンス・シニアフレンドリー（CR-SF）包装容器といいます。）の開発や普及を促すことができないか、その検討に活用するために実施するパネル試験を始めとした調査の進捗状況について、事務局と担当専門委員から説明を受け、工学的な視点から議論しました。
- 食品・化学・医学等事故調査部会（2月中旬に開催）
 - ・ 子どもによる医薬品誤飲事故：事務局から、調査の進捗状況やパネル試験の概要について説明を受け、医学的な視点を中心に議論しました。
CR-SF包装容器による誤飲防止対策の検討に当たっては、子どもに安全であることはもちろん、高齢者など本来の服用者への影響やリスクなどを慎重に見極めながら対策を検討することが必要ではないかとの議論がありました。
 - ・ 染毛による皮膚障害：調査の進捗状況について、事務局から報告を受けました。